**AI基盤モデルの開発環境整備**

**申請書（事前調査版）**

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名  （漢字等） |  |
| 機関名  （フリガナ） |  |
| 担当者氏名  （漢字等） |  |
| 担当者氏名  （フリガナ） |  |
| 連絡先 住所 | 〒 |
| E-mail |  |
| TEL |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **（１）取組の内容** | | | | | | | | | |
| **（１－１）整備する計算資源量**  ※種類（以下の例に倣い、可能な限り具体的に記載すること）と枚数（ノード数ではないことに留意）を提供開始時期に沿って記載すること。  ※取組方針案では、以下のいずれかの条件を満たすことが認定要件の１つとなっています。  ①2025年度上期までに提供開始される計画である計算資源については、当該事業者において2025年度上期までに提供開始される計算資源量が理論ピーク性能（※）で合計0.75[EFLOPS]以上であり、取組期間中は合計0.75[EFLOPS]以上を維持する事業計画を有すること。  ②2025年度下期から2027年度末までに提供開始される計画である計算資源については、当該事業者において2027年度末までに提供開始される計算資源量が理論ピーク性能（※）で合計7.5[EFLOPS]以上であり、取組期間中は合計7.5[EFLOPS]以上を維持する事業計画を有すること。  （※）理論ピーク性能には、半精度浮動小数点数演算の理論ピーク性能を用いるものとし、データのスパース性を利用した最適化等による加速分は含まないものとする。 | | | | | | | | | |
| 提供開始時期 | | 2024年度 | | 2025年度 | | 2026年度 | | 2027年度 | |
| 4～9月 | 10～3月 | 4～9月 | 10～3月 | 4～9月 | 10～3月 | 4～9月 | 10～3月 |
| 種類  ・  枚数 | (例)  NVIDIA  H100 SXM | 0 | 0 | 2000 | 2000 | 0 | 0 | 2000 | 2000 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **（１－２）整備する計算機システムの構成**  ※どのようなAI用の高度な電子計算機を導入するのか、導入するサーバー、ネットワーク、ストレージの構成やスペック、台数等に触れながら可能な限り具体的に記載してください。（計算資源量あたりの補助額（補助対象経費）に上限を設ける予定ですが、補助対象経費を超えて整備を実施することは妨げません。ただし、補助対象経費を超える分は自社で負担いただくことになります。） | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| **（１－３）提供するクラウドサービス**  ※自社及び100％子会社（以下、自社等とする。ただし、この定義は今後変更の可能性がある）以外も含めた日本のAI基盤モデルの開発に資する基盤として、（１－２）の計算機システムを用いて、利用者にどのようなクラウドサービスや開発環境を提供するのか、具体的に記載してください。また、それが自社等以外も含めた日本のAI基盤モデル（基盤クラウドプログラム）の開発に資することを丁寧に説明してください。  ※また、取組期間中に、当該電子計算機を活用して提供されるクラウドサービスの利用者数が100以上となることを示しつつ、具体的な想定提供先や、それら提供先の確保方法について記載すること。 | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| **（１－４）提供範囲**  ※どのような形態でどの程度の計算資源量を提供する予定なのか（AI基盤モデル（基盤クラウドプログラム）の開発環境の外部提供なのか、自社等で使用する予定なのか、他のサービスと組み合わせた上で提供する予定なのか）について、計算能力（EFLOPS /基数）と期間の両面から、可能な限り詳細に記載してください（審査においては、自社等以外も含めた日本のAI基盤モデル（基盤クラウドプログラム）の開発に資する形で提供する計算資源量と期間の積の合計が大きな提案を高く評価します（ただし、自社等以外も含めた日本のAI基盤モデル（基盤クラウドプログラム）の開発に資する形で提供するもの以外等の割合について上限を加える可能性もあります））。 | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| **（１－５）提供価格**  ※当該クラウドサービスが、その他の同種の電子計算機を利用する場合の市場価格等に比べて安価な価格で提供されることを示すこと。 | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |

|  |
| --- |
| **（２）実施計画** |
| **（２－１）設備投資の概要・スケジュール**  ※（１－１）で示した計算資源の提供を実施するために、①データセンターをどこにどのように整備するか、②GPUサーバー等の必要な備品をどのように調達するか、③どのように設備の設置工事を実施するか、について、具体的な事業者やスケジュールを含めて可能な限り具体的に説明してください。スケジュールについては図表を用いて説明してください。 |
|  |
| **（２－２）データセンター内の配置について**  ※（１－１）で示した計算資源の提供を実施するにあたって、データセンター内にどのようにGPUサーバーを配置するか、どのように冷却を実施するかについて、図表も使いつつ、具体的に説明してください。 |
|  |
| **（２－３）資金調達**  ※（１－１）で示した計算資源の提供を実施するために、資金をどのように調達するかについて、具体的に説明してください。  ※AI用の高度な電子計算機の提供が安定的に実施できるような収支計画を有していることを具体的に説明してください。 |
|  |
| **（２－４）実施体制**  ※実施体制を図示するとともに、取組に関するものを含め、体制の整備状況について可能な限り具体的に説明してください。 |
|  |
| **（２－５）積算・助成希望額**  ※事業費の積算 （総額・年度ごとの金額）と、助成希望額（その事項・総額・年度ごとの金額）について別紙に記載すること。 |
| ※別紙のとおり |

|  |
| --- |
| **（３）事業者に関する事項** |
| **（３－１）事業者の経験**  ※これまでの高度な電子計算機の提供に関する経験の有無やその実績を可能な限り具体的に記載してください。ユーザー等からの評価についても具体的に記載してください。 |
|  |
| **（３－２）事業の将来性**  ※日本におけるAI基盤モデル（基盤クラウドプログラム）の安定供給の確保のため、取組期間の終了後も含め、継続的かつ安定的に設備投資を実施する計画なのか、将来的に提供の拡大が具体的に計画されているかについて、記載してください。 |
|  |

以上